

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	生殖細胞の性分化機構
研究代表者	相賀 裕美子 (国立遺伝学研究所・系統生物研究センター・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>哺乳動物の生殖系列は、応募者らによる研究により RNA 結合蛋白質によって制御されている事が示され、高等動物に共通のしくみが存在する事が明らかとなった。その後、応募者らは、RNA 制御が精子幹細胞の維持にも関わる事、雌の生殖系列では RNA 制御の抑制が卵子形成を促進することを示した。本研究は、生殖細胞の性分化機構の分子レベルでの解明を目指す意欲的な提案である。生殖系列特異的な RNA 制御を再構築する試みや、キメラ法の導入など意欲的なプランが含まれており極めて独自性が高く大きな研究成果が期待できる。</p> <p>日本が世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>